

一般質問



安江 議員

一、安定ヨウ素剤の配備について
二、玄海原発再稼働について

質問

一、(1)安定ヨウ素剤服用のタイミングをどのように認識し、福島事故での事実を把握されているか。
(2)今、原発事故が起こればどのような服用できるのか。その配備はどうか。市民は追加配備を知っていたか。
(3)自主避難者は安定ヨウ素剤服用の時間を確保できるのか。
(4)国、県の動向とかよそごとでは住民の健康は守れない。どう思うか。
(5)安定ヨウ素剤を家庭、事業所、学校等に配備すべきと考えるがどうか。
二、(1)福島原発事故原因究明はどうなっていると認識しているか。
(2)玄海原発1号機脆性遷移温度98度をどう認識しているか。また、1号機の廃炉を求める考えはないか。
(3)九電のやらせメールをどう思うか。
(4)過去に地震、放射能漏れを起こしたことは、原子炉立地審査指針に則っていないと考えるがどうか。
(5)未だ原発事故の原因究明はされず、独立した規制機関はなく、安定ヨウ素剤の配布計画もない。再稼働の前提は崩れているが、市長の見解は。
(6)原発は要らないという市民の思いを県や国に要請する考えはないか。

答弁

一、(1)関係機関が放射性ヨウ素の拡散状況を判断し、適切に服用できるように取り組む必要があります。福島では6市が配布を行っております。
(2)被曝医療マニュアルに基づき服用指示、配布をし、救護所で服用します。鷹島診療所に3万2千錠が配備され、10月に原子力防災パンフレットで配備状況を周知する予定です。
(3)原則として救護所やスクリーニング会場へ避難し配布となります。服用時間確保の可否は推測が困難です。
(4)課題を踏まえ、実効性のある対応を構築してまいります。
(5)国の議論を見守り、取り組みます。
二、(1)まだ究明されていないと認識します。
(2)温度が低い方が安全と考えます。
1号機には様々な見解があることは承知しています。
(3)残念なことだと思います。
(4)電気事業者が届出をし、国の審査後立地されていると認識しています。
(5)安全優先と安全確保を踏まえ、国の責任で決定すべきと思います。
(6)しかるべき時期に対応すべきことがあれば、適切に判断します。

一般質問



高橋 議員

一、調川公民館並びに調川出張所建て替えについて
二、通学路の安全対策と「棧敷線」の安全対策について

質問

一、建設されて36年を経過している調川公民館は、老朽化が進んでおります。多くの皆さんにご利用頂いていますが、市長はどのように感じているのか伺います。
また、雨漏りや避難階段、玄関のコンクリートのひび等あらゆる場所に傷みがありますが、担当課として今後の対応をお聞きます。

二、市内の通学路の安全対策を教育委員会としてどのような対応策を考えているのかお尋ねします。

調川の市道棧敷線についても未整備区間が多く、子供たちの通学に支障を与えていると思われませんが、教育委員会と建設担当課の考えをお聞きます。

その他にモータサイレン設置について質問しました。

答弁

一、築36年を経過しているということと、階段等の勾配も非常にきつくと、現在の間取りとか使い勝手から考えると、整備が必要という認識を持っています。
いろんな課題がありますので、状況を再度確認し、建築担当と協議しながら、今後、進めてまいります。
二、教育委員会としては、交通事故の防止のために常日ごろから交通安全指導の徹底を図っています。市内各学校の通学路の危険箇所の点検が大事ということで、各学校に安全点検の指示を行い、報告を受けております。棧敷線の安全対策についても、調川小中学校において危険箇所の点検と安全マップを作成し、路側帯の白線が消えているとか、溝ぶたがなくて危険だとか、カーブミラーが傷んでいるなど幾つかの具体的な項目が挙がっております。
市道棧敷線の整備に関しては、本線そのものは改良済みの規格道路ですが、歩道の設置のない道路ですので、限られた予算ではありますが、現地を精査して緊急性の高いところから整備をしていきたい。